

# ささえあい通信

第7号

(発行)2021年3月17日 富士宮市社会福祉協議会 地域ささえあい係

つながりを切らない、孤立させない、  
新しいつながりを考える情報を各地区社協へ発信!!

## 共に学び、共に生きる 北山・山宮地区社会福祉協議会



▲地区社協推進委員による訪問の様子

北山・山宮地区社会福祉協議会では、75歳以上の一人暮らしの方、寝たきりの方を対象に、お弁当を届けて声掛けをする、ふれあい訪問(給食サービス)を年3回行っています。この活動は、これまで民生委員児童委員を中心に行ってきましたが、今年度は地元の小学校の子どもたちの協力を得て行いました。

そのきっかけは、小学校から、「学校で福祉のことを勉強しており、地域の高齢者のことを理解し、関わりを持ちたい」との相談から始まりました。相談を受け、ふれあい訪問(給食サービス)を紹介したところ、「ぜひ関わらせていただきたい」とのことで活動に向けて動き出しました。

まず、子どもたちにふれあい訪問(給食サービス)の活動について説明する機会を作りました。推進委員から写真等を使って、活動時の対象者の様子やこの活動の目的を伝えました。

その後、子どもたちは地域の高齢者への手紙や手作りのプレゼントを用意してくれました。子どもたちからの手紙を届けると、みなさん大変喜んでくださり、「小学生も協力してくれたんだね」「大切に飾っておくよ」との声が聞かれました。

ふれあい訪問(給食サービス)は、外出する機会が少なくなった方の様子を確認し、地域とのつながりを絶やさないための活動です。訪問することを楽しみに待っていてくださり、「いつもありがとうね」との言葉から、この活動がみなさんにとって心の支えになっているのではないかと感じました。また、活動を通じて地元の小学生に地区社協について知ってもらい、交流することが出来ました。地区社協のメンバーにとっても、自分たちの活動を振り返り、対象者や活動者自身の思いに気づき、子どもたちと共に学び合うことができました。

今後もお互いに気に掛け合って、つながりを広げていければと思います。



▲北山小学校・山宮小学校のみなさんからの手紙